

環境教育掲示用教材 指導資料

環境教育掲示用教材は、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、私達を取り巻く環境に着目し、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的として作成した教材です。

本指導資料では、環境教育掲示用教材の授業等での活用例を紹介します。

環境教育掲示用教材の活用例

環境問題について調べて、自分にできることをやってみましょう。

わたしたちも生きものも すみやすい場しょ

①表題



②ねらい

身近な生物と人間が共存する持続可能な自然環境を保全しようとする意欲を育成する。また、身近な生物を守り育てていこうとする態度を育てる。

③環境教育で対象とする主な内容 (ESDの構成概念)

自然や生命の尊重 (多様性・公平性)、生態系の保全 (相互性・責任性)、生活様式の見直し (責任性) ※環境教育指導資料 P8、P9 参照

④主なSDGsとの関連

【SDGs11】住み続けられるまちづくりを (小学校・中学校共通テーマ)
 【SDGs6】安全な水とトイレを世界中に、【SDGs14】海の豊かさを守ろう、
 【SDGs15】陸の豊かさを守ろう

⑤主な活動

活動内容 (○主な活動)	教師の支援 (◇留意点)	◆掲示用教材等との関連
○掲示用教材①を見て、身の回りにいる生き物について話し合う。	◇身の回りに、いろいろな生き物があることに気付かせる。	◆掲示用教材① ◆ワークシート①
○掲示用教材②を見て、どんな場所に住んでいるか話し合う。	◇生き物たちの住みかを考えさせる。	◆掲示用教材② ◆環境教育指導資料 P40～
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">人のくらしと生きものがそだつ場しょ</div> ○掲示用教材③④を基に、絵を見て冬の人の暮らし方と生き物たちの冬の過ごし方の違いを学級全体で話し合う。 ○掲示用教材⑤を参考に、人が暮らしやすい場所と生き物たちの住みかの両方を大切にするために、自分にできることを考える。 ○気付いたことや感想を発表する。	◇人と昆虫や植物の冬の過ごし方の違いについて話し合い、生き物たちの住みやすい環境を考えさせる。 ◇イラストを参考に、自分にできることを考えさせる。 ◇児童一人一人が身近な環境保全につながる生活を心掛ける必要があることに気付くよう、振り返らせる。 ◇【SDGs6】、【SDGs14】にも必要に応じて触れる。	◆掲示用教材③④ ◆ワークシート② ◆掲示用教材⑤ ◆ワークシート③

※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。

※東京都教育委員会ホームページで、環境教育指導資料及び本掲示用教材のイラストや図表等を公開しており、拡大して授業等で活用できます。



かんきょうもんだい 環境問題についてしらべて、^{じぶん}自分にできることをやってみましょう。

わたしたちも生きものも すみやすい場しょ

ねん 年 くみ 組 なまえ 名前

①わたしたちのまわりにはどんな^い生きものがあるのかな？



②^{ひと}人がくらしやすい場しょと、^い生きものがすみやすい場しょはちがうのかな？



③わたしたちも^い生きものもすみやすくするために、^{じぶん}自分たちにできることはあるかな？

